



Tanbahirami Agriculture Plan

TAP21

2019—2021



第10次営農振興3カ年計画書



ゆめ
—希望とうるおいのあるまちづくり—
JA丹波ひかみ

組合長あいさつ



丹波ひかみ農業協同組合
代表理事組合長

大 畠 良 樹

令和という新たな時代を迎え、組合員の皆さまには益々ご健勝で、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、JA事業に格別のご支援ご協力を賜っておりますこと、心から厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の景気動向は、米中間の通商問題が様々な経路で日本経済に影響する可能性や長引くマイナス金利政策が金融業界に厳しい状況をもたらしていること、また今年10月に予定されている消費税増税の影響などが懸念され、先行きが不透明な状況が続いています。

一方、農業情勢におきましては、直近の農林業センサス統計データによりますと農業者の減少・高齢化により耕作放棄地の増加が一層進んでおり、丹波市においても農業就業者の平均年齢が70歳を越える状況となっております。

また平成30年度から国による米の生産数量目標の配分がなくなるなど、農業政策の転換による地域農業への影響も懸念されるところです。

このような情勢の中、当JAでは、組合員の皆さまの「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を具体的に支援するため、営農改善支援積立金を利用した助成等を実施し、営農振興に取り組んでいます。また、特産振興と6次産業化への取り組みとして、小豆茶・丹波市特産粥を開発し、丹波ブランドを活かす特産品の販売拡大につとめております。

JAではここに第10次営農振興3ヵ年計画を策定し、農家支援による農業所得の向上と農業生産の拡大、持続可能な農業の実現をめざし、役職員一同、皆さまとともに協同組合運動に全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

contents

組合長あいさつ	1
第28回JA全国大会決議 第34回兵庫県JA大会決議	2
第10次営農振興3ヵ年計画	3
丹波ひかみ米の品質向上および ニーズに応じた作付けによる販売力強化	4～5
丹波大納言小豆をはじめとした 特産物の振興	6～9
持続可能な地域農業に向けた人づくりと 地域づくり	10
とれたて野菜直売所出荷による 農業所得の向上	11
重点振興作物の調製機能の向上による、 丹波ブランドの強化、定着	12
専門的な人材の育成と職員のスキルアップによる、 営農指導のさらなる充実	13